

令和5年11月24日発行
京都府丹後保健所 保健課
(丹後地域包括ケア推進ネット)

1 令和5年度上半期 啓発活動の状況について

活動状況を掲載しています。今後の活動の参考にしてください。

「きょうと認知症あんしんナビ」の活動ブログにも掲載しています。



実施日	名称等	啓発人数等	概要・感想 等
4月22日	シーサイドサロン阿蘇 	50名	与謝野町のシーサイドパーク阿蘇で開催されたサロンにて来場者へ啓発しました。管理棟にミニのぼりを飾り、啓発グッズやリーフレットを配布しました。 リーフレットを読んでおられる方もありましたが、「こんなん要らん！」と受け取ってもらえない高齢者もありました。 改めて、認知症への差別や偏見を無くすために、地道に啓発し、認知症に対する正しい理解を伝えていきたいと思えます。
6月6日	心も体も元気UP!塾 	38名	天候にも恵まれ、心地よい風の吹く中、参加者の皆さんはのびのびと楽しそうに取り組んでくださいました。 基本体操や国立長寿医療研究センターで開発された「認知症予防運動プログラム(コグニサイズ)」、棒体操、リズム体操に皆さん熱心に取り組まれました。 手作りした「認知症かるた」を掲示して認知症の症状について紹介したり、啓発リーフレットを配付して認知症の啓発活動を行いました。
7月3日	宮津市第二旭が丘自治会 組長会説明	11名	公民館・公園の草刈り掃除後、第二旭が丘自治会へ啓発させていただくため、まず組長会に説明会を実施し、啓発の了承を得ました。 組長会に参加されていた方々にも啓発活動させていただきました。
7月10日	久美浜中学校3年生「認知症サポーター養成講座」 	76名	暑い中の開催でしたが、スライドを使った認知症サポーター養成講座、絵本の読み聞かせは例年通り熱心に聞いてもらえたと思います。「認知症かるた」では生徒にも読み上げてもらう等、伝わる工夫をしました。読み上げ後に走って取る形式とし、全カダッシュで大いに盛り上がりました。 生徒からは「今日学んだことをいかして自分たちにできることを考えていきたい」等感想を聞かせてもらいました。 講座の後、家族への対応について質問してくれる生徒もあり、講座の内容をふまえて対応案をお伝えしました。
7月16日	宮津市第二旭が丘自治会 公園掃除 	45名	宮津市第二旭が丘自治会の皆様に初めて啓発活動させていただきました。リーフレットを2種配布させていただきました。関心を持っていただいたようです。
7月19日	看護小規模多機能施設体 験ツアー者向け啓発 	2名	看多機の体験ツアー参加者2名にお話を聞いていただきました。お二人は難しいパズルで悩まれていました。「認知症の心配がないですか？」とお伺いし、テストをしていただきました。簡単に回答できたのでお二人とも笑顔!! 詳細の説明を加えたところ「先日、認知症のテストをした」と。説明を素直に聞いていただいたことに感謝と予想外の受け入れに驚きのひとときでした。
7月25日	看護小規模多機能施設体 験ツアー者向け啓発2 	2名	90歳代の方に説明を行ったが、「認知症」と診断されている方には認知症チェックも難しいということが分かりました。診断されている方にはご家族のご協力が必ず必要です。今後はご家族を含めた啓発の場を考えていきたい。

7月26日	久美浜町栄町認知症サポーター養成講座 	10名	脳トレ体操や、伝わりやすいように「認知症かるた」を盛り込みながら認知症についてお伝えしました。 「うんうん」とうなずきながら興味を持って聞いていただけたと感じています。自分のため、我が親のためにだけでなく、地域のためにもと「うんうん」とうなずきながら話を聞いてくださいました。
8月1日	看護小規模多機能施設体験ツアー者向け啓発3	5名	認知症への関心が高く、近辺（岩滝）のカフェを紹介できればと思います。
8月19日	加悦奥1番組万灯 	70名	加悦奥一番組万灯に参加された、お子さん、親御さん、高齢者の幅広い世代にリーフレット、啓発グッズを配布、啓発活動をさせていただきました。
8月25日	久美浜町土居区 認知症サポーター養成講座 	5名	地区の馴染みの関係の中で思うことを話してくださるなど、少人数ならではの活動ができたと思います。 地域でお店をされている方もあり、「認知症かるた」も使い具体的な場面での対応方法をお伝えすることができました。
8月26日	石田地区認知症サポーター養成講座（区民向け）	50名	石田区民向けの啓発活動を初めて行いました。「認知症サポーター養成講座」に参加された方々は真剣に聞いておられました。 
9月1～29日	京丹後市アルツハイマー月間（京丹後市役所ロビー展示・図書館特設コーナー（6か所）） 	220名	月間中は、窓口のにぼり旗やポスター、啓発コーナーを設置。ロビー展示は、市役所来庁者・職員や、介護施設通所者等が通所スタッフと一緒に見に来られていた。 当事者からのメッセージや作品、「認知症カルタ」などを見たり、啓発グッズを持ち帰られた。認知症について知りたいと来られた方もあった。 9/21のアルツハイマーデーには、課内でオレンジTシャツを着用し、普及啓発を行った。月間中の会議や成年後見普及啓発講座等でもリーフレットや啓発グッズを活用し普及啓発を行った。
9月1～30日	宮津市アルツハイマー月間（図書館展示） 	30名	毎年行っているアルツハイマー月間における啓発ですが、今年はSNSも活用して普及啓発を行い、たくさんの方にご来場頂きました。 図書館内もオレンジ風船で飾りつけを行い、明るくにぎやかな空間になりました。
9月1～30日	与謝野町世界アルツハイマー月間 	100名	各事業所や他地域の建設業の方にも協力を得てオリジナルポスターを貼らしてもらいました。つなげ隊が出向いての啓発グッズを手渡す事は難しい点がありましたが「認知症って何？」とたずねて来られたり、1カ月間施設玄関前に「認知症」ののぼりを立てて通行される皆様にも目に止まるようにしました。
9月17～30日	伊根町世界アルツハイマー月間における認知症の啓発 	30名	9月に移転した図書館での啓発活動であったため、来館者も多く、多くの方が認知症に関する本を手にとったり、認知症についてのクイズに参加し、認知症について考えるきっかけをつくることが出来た。直接、図書館で啓発グッズを配布した日(9/21)は、天候が雨だったこともあり来場者が少なかったため、多くの方に直接啓発ができるよう広報や日時の設定を工夫する必要があった。
9月21、22日	天橋立ライトアップ 	不明	橋立が認知症のテーマカラーであるオレンジ色に一定時間ライトアップされ、暖かくぬくもりのある空間となりました。 誰もが安心して暮らしていける街づくりを目指して、今後も啓発を続けていきます。
9月23日	シーサイド・オレンジサロン・あそ 	70名	岩滝長寿会連合会、若手部会と与謝野町地域支援推進員合同主催の“シーサイド・オレンジサロンあそ”にて認知症啓発を行いました。 アルツハイマー月間のイベントで開催場所も大きな広場、又、天橋立も一望出来るといった好条件のもと遊具で遊ぶ親子連れ、老若男女問わずお子さんには風船での啓発も行いました。
9月30日、10月1日	天橋立ツーデーウォーク 	100名	昨年、天橋立が名勝に指定されて100年、特別名勝に指定されて70年となりました。全国から沢山の方にご参加いただき、無事開催することができました。 歩くことを通じて健康づくりの意識醸成を目指していますが、運動の継続は認知症予防の観点からも大切な事ですので、これからも普及啓発に力を入れていきたいと思っています。